

令和5年度 愛知教育大学入学試験問題  
標準的解答例または出題の意図及び評価の観点

【前期日程】

科目名： 外国語

---

I

- 問1 (解答例) 生きている間にやっておきたいことの一覧。
- 問2 (解答例) 一度きりの平凡な人生の中にも、実現されることのないたくさんの可能な未来があるのだ。
- 問3 (解答例) 我々にとって実現可能な範囲のことではなく、時間と資金が有り余るほどあれば実現可能かもしれないほどの、無限の項目を要求している点。
- 問4 (解答例) やっておきたいことの項目を適切に選ぶなら、求めても尽きることのない欲望に悩まされることもないだろう。

II

- 問1 (解答) (i) e (ii) c (iii) h (iv) g (v) b
- 問2 (解答例) 過去の難しすぎる文献を読んで理解しようとするよりも、新しい法則を生み出そうとしていた。
- 問3 (解答例) 伝染病がロンドンを襲い、たくさんの人が亡くなったことと結びつけて考えられた。
- 問4 (解答例) She was relieved to know that her son was alive.  
She was happy to know from his letter that Issac survived the pandemic. など
- 問5 (解答例) 伝染病により帰郷を余儀なくされ、自分一人で問題に取り組み、新たな問題を創り出すことで、世界最高の数学者になったということ。

III

- 問1 (解答) (i) d (ii) c (iii) a (iv) b (v) e
- 問2 (解答例) たとえそれがアクセントや発音、音調であれ、規範に従おうとすればするほど、私の英語は口ごもりがちになり、とても堅苦しいものとなった。
- 問3 (解答) nativisation
- 問4 (解答例) native という言葉が所有を含意するため。すなわち、正しくて一貫性のある、少数の国にだけ存在する英語の源というものがあり、それ以外の英語はなまっているということを含意するため。
- 問5 (解答例) 英語の全一性に気を付けることと、英語に息吹を与え変化するのに任せること、という互いに矛盾しているように見えるこれら二つの事象が実は両立することを、変化するのに任せた結果の intewine を用いることで示そうとしているため。

(別解) 誤用である *intewine* を用いても、英語の全一性を貶めることにはならないことを示すため。

#### IV

(出題の意図) 20 年後の英語教育について 200 語程度の英文で説明してもらうことにより、これからの英語教育を担う人材としての適性を確かめると同時に、将来的に英語教員を目指す者としての基本的な英語表現力が身についているかどうかを確認します。